

サッカー

江井島 2年連続優勝

堅守から攻撃、先制点守る

中学総体

東播地区

17日にかけて東北播各地で開かれた第45回東播地区中学校総合体育大会(神戸新聞社後援)。サッカーは2年連続で江井島が優勝した。ソフトテニス男子団体は二見が頂点に。ハンドボールの男子は魚住東、女子は望海が栄冠に輝いた。

(成績は東播版に後日掲載します)



サッカー決勝は江井島が1-0で平岡に勝った。3日間で全4試合を無失点に抑え、計14得点。堅守からの多彩な攻撃が結実した。

猛暑の下で始まった決勝戦。互いに無得点で迎えた前半14分、江井島は左コーナーキックを南山空選手(3年)が右足で上げ、江川究主将(同)が右こめかみでゴールに。貴重な先制点が決勝点となった。

「練習通り」と南山選手。江川主将は「相手の前に出た」と胸を張った。神田慶翔副主将(同)も「大事なところで点を取れた」と喜んだ。

中学校からサッカーを始めた江川主将を含め、江井島小学校時代から気心の知れた仲間と県大会へ。勝ち切ったことを自信に近畿大会を目指す。(坂本 勝)

県大会も一丸で

準優勝した平岡の川口颯麻選手(3年)「一つ一つのプレーで相手のレベルが高かったが、決勝まで進めて良かった。県大会でも負けずに、チームのみんなと試合を続けた」

①サッカーで2連覇を果たした江井島
②サッカー決勝で相手陣に攻め込む江井島(白色ジャージ)―いずれも加古川市加古川町大野、白岡山公園